



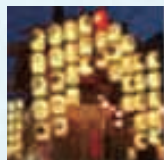
“一丁噛み”が行く！

第67回：京都の夏

今年も夏の風物詩が終わり、いよいよ秋本番となってきました。

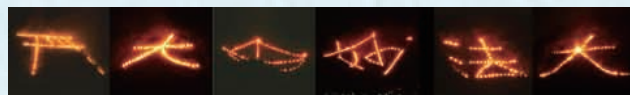
京都の夏は祇園祭に始まり大文字五山の送り火に終わるといわれています。毎年たくさんの観光客が入浴し、京都の町は賑わいを呈します。京都が盆地であるが故に、夏は湿度が高くて蒸し暑く、冬は底冷えで身にしみる寒さです。今年も地方から来られた観光客の皆さんは京都の暑い夏を堪能されたことでしょう。

さて、そんな夏の行事にも変化が起きそうです。来年から祇園祭の山鉾巡行が二日間に分けて行われるというのです。7月17日の前祭（さきまつり）と、7月24日の後祭（あとまつり）に分けられるそうで、後祭りの時は先祭りとは逆方向で山鉾が巡行するのだそうです。



ところで、祇園祭っていつからいつまでかご存じですか。祇園祭は7月1日の「吉符入り」から31日の疫神社「夏越祓」まで1ヵ月に渡ります。そのなかでも、7月14日～16日の宵々々山・宵々山・宵山、7月17日の山鉾巡行、神輿渡御・神幸祭がメインイベントですが、来年からは24日の後祭りも加わり更に賑やかになることでしょう。もっとも今でも24日は還幸祭で、御旅所から八坂神社に御輿が帰ってくる日でもあり、地元では大勢の人でごった返しています。

大文字は“大文字焼き”という無粋な言い方をしますが（お好み焼きやたこ焼きとちゃうねん！（`^´））、正式には大文字五山の送り火といって、お盆に迎えた精霊をふたたび冥府に返す精霊送りの意味を持つ宗教行事です。ですので京都では8月16日は“地獄の釜も休む”といわれるほど、一斉休業することになっています。今年は、京都以外のところではお盆休みは13～15日というところが多かったようですが、京都は16日も休んでいるところが大半でした。



ということで、今年も夏は終わりそうです。いよいよ秋本番。今度は食欲の秋かな(>_<)、

TOPICS

展示会の出展や関連イベントなどのお知らせ

「東南フェスタ 2013」に出展します

2013年9月21日(土)に、京都テルサで開催される同イベントに出展します。

同イベントは、京都中小企業家同友会が地域と産学官との交流の場として開催するお祭りの催しで、当社からは低価格販売管理システム『はんばいQsp MSG』を出展します。楽しいステージ企画やアトラクションなどご家族揃ってゆっくり楽しんでいただける催しですので、ぜひお越し下さい。

「中信ビジネスフェア 2013」に出展します

2013年10月17日(木)～18日(金)に、京都中央信用金庫が京都府総合見本市会館（パルスプラザ）で開催する同フェアに出展します。

小規模製造業向け生産管理システム『Assist』、呉服業向けシステム『ごふくQ』、低価格販売管理システム『はんばいQsp MSG』を出展します。

「ビジネスフェア in 京たなべ 2013」に出展します

2013年10月22日(火)に、京田辺市や京田辺商工会が主催して、同志社大学多々羅キャンパス（旧ウェルサンピア）で開催される同フェアに出展します。

低価格販売管理システム『はんばいQsp MSG』、小規模製造業向け生産管理システム『Assist』を出展します。

「起業家セミナー」が開催されます

毎年、京都府と公益財団法人京都産業21が主催する『起業家セミナー』のカリキュラム（講師陣）に、今年も一般社団法人バトルクレイン・プロジェクトが選ばれました。**10月12日(土)～11月30日(土)**まで全7回にわたって起業のための講義を行います。受講料は全課程を受けて5,000円。詳しくは、

http://www.ki21.jp/information/entre_semi/2013/ をご覧下さい。受講生募集中！

読者 訪問



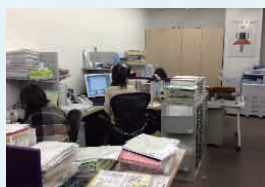
第44回

お伺いした会社
お話を伺った方
会社の所在地

連絡先など
URL
e-mail

赤井・岡田法律事務所
弁護士 岡田 一毅 様
〒604-0904 京都市中京区新堀木町通竹屋町上る西草堂町 184
オクムラビル 2F
TEL 075-257-6033 FAX:075-212-3670
http://www.akai-okadalaw.com/
okada@okadalaw.com

今回は当社の顧問弁護士でもある赤井・岡田法律事務所の岡田一毅弁護士を訪ねました。岡田先生とは、当社代表取締役の米田が起業家グループ“Kyoto eggs”で知り合い、平成20年(2008年)から当社の顧問弁護士としてお付き合いさせていただいております。また現在、請求管理システムのご相談にも応じさせていただいております。



事務所風景

弁護士さんといえば、なんとなく難しそうな人というイメージがあったり、弁護士に相談したら高くとられるという先入観があったりしますが、大変気さくな先生で、一般的な法律相談も30分5,250円から応じて下さいます。平成12年(2000年)に弁護士登録をされ、小西法律事務所に勤務されました。そして、平成16年(2004年)10月に赤井勝治弁護士と共に、赤井・岡田法律事務所を開設し独立され、現在は両先生をはじめ5名の弁護士さんがいらっしゃる法律事務所になっています。

交通事故関係や医療関係のトラブルをはじめ、相続や離婚などの個人的なトラブルから企業間同士のトラブルまで幅広く取り扱っておられます。特に企業の法律顧問としての業務が多く、企業関係者からの知人の個人的な相談などを受けることも多いとおっしゃいます。

弊社ではソフトウェアの契約関係の相談に乗っていただいていることが多く、いざという時の心強いサポーターとしてお世話になっています。

岡田先生は『弁護士を使うメリットとデメリットをはっきりとお話し、ご自分でできることはできるだけご自分でできるようにアドバイスをして、無駄な費用を払わなくてすむようにしています』とおっしゃいます。まさにトラブル解決の赤ひげ先生みたいですね。

どうか皆様も弁護士さんを身近な存在だと思っていただき、一人で悩まずに気軽に相談していただきたく思います。



岡田先生

赤井・岡田法律事務所
Akai and Okada Law Office

ビルの1Fに掲示してある表札

犬も歩けばサポーター日記

シーズン2



猫山：お疲れさまです、部長！

部長：猫山君ご苦労様。出発準備は出来たかね？

猫山：そりゃもちろん。今日は部長を京都の伝統工芸の世界へご案内しましょう。今日訪問するお客様は和紙を中心とした紙加工を手掛けておられる〇〇紙業さんです。



部長：なんだかいつになく大袈裟な紹介だねえ。

猫山：何たって“京都の伝統工芸”ですからね。

訊かれる前にお答えしておきますと、このお客様の最大要件は“加工指圖書の発行と保存、検索による再利用”です。

部長：ふむ、伝統工芸であっても製造業だからな。紙加工と言えば色紙とか短冊などが思い浮かぶが...

猫山：もちろんそれらもありますが例えばご朱印帳ってわかります？チョー分かりますが例えばお寺の記念スタンプ帳なのですが、これなんかは当然お寺毎のオリジナル品でリピート性の高い商品ですよ。よって前回と同じのをいくつ！という注文が来るわけです。

部長：その時に当時手配した材料の明細や工程？などをすぐに確認し現場指図できるようにするわけだね！

猫山：さすが部長、ご名答！



部長：お、看板が見えた。到着したようだ...

何をそごそしてるんだね？

猫山：えー、前回打ち合わせした時のメモが行方不明になったようで...

部長：良いことを言っている割には君自身が“手書きのメモと目検索”か...

猫山：はあ、面目ないです...



サポートのシステムはいろいろな業種・業態でお使いいただいております。こんな業種でこんな使い方をされているといった事例をご紹介します、参考にさせていただきたく思っております。

部長：でも一般の製造業と違って図面なんかで簡単に指図できるものではなさそうな気がするが...

猫山：確かに。手作業であればノートとかにメモを一杯書き付けて、あとで目検索して...となるところをシステム化している訳です。まず受注を入力、その時に製品の基本情報、紙業さんならではの“断裁”に関する指示、加工の詳細に関する指示、製品のために必要となる材料の手配先や外注加工の依頼先、さらに得意先などが支給してくれる預かり品などを入力出来るようにしています。

部長：なんだか情報量が多そうだな...

猫山：でもそれを言い訳にしていたらいつまでも“手書きのメモと目検索”ですよ！ちなみに過去歴を参照して、あればそれを貼り付けるのが基本操作です。またマイナーチェンジがあった場合は何からそれに派生したかが分かるようにしてあったり、預かり品は最後どうするか(返却する、引き続き預かっておく、etc)が指示できるなど、この部分はお客様のご要望を可能な限り取り入れてあります。もちろん図面というか営業部長さんが書かれた手書きの設計図？をPDF化してリンクできるようにもしています。

百聞は一見にしかず、と言いますからね。

部長：紙加工業の会社にそのまま適応できる事例というより、図面などで簡単に表せないような加工業がかかえる問題を解決する好例として捉えておきたい内容だな。もちろんそこから普通の販売管理に繋がっていく訳だね？

猫山：そのとおりです。実は〇〇紙業さんでは一度この加工指図部分だけをオーダーで作成されたことがあるらしいんですが、ソフト会社の人に業務内容がうまく伝わらず頓挫したらしいです。

部長：もちろん我々が手掛けたら100点、という訳にはいいないだろうが、こういったものはまずデータの蓄積が大切だ。ソフトは後からでも手直ししていけるからね。伝統工芸とITの融合、いいね！